

# 和歌山県庁のMVV（ミッション・ビジョン・バリュー）の概要

## ○策定の背景

- ・今後、限られた人員で多くの課題等に対応していくためには、これまで以上に職員一人ひとりが主体的に行動し、その能力を最大限発揮できる職場環境づくりが必須
- ・「組織としてめざす姿」や「実現のための行動」に関する指針（＝MVV）を策定し、全職員が共有することで、組織内のエンゲージメントを高める

## ミッション（県庁の役割・使命）

▶ 組織としてどういう存在であり、どういう使命を果たすか

県民一人ひとりの幸せを追求し、寄り添い、笑顔にします

## ビジョン（中期目標）

▶ ミッションを実現するため、組織が中期的に目指す目標、将来の姿  
※「和歌山県総合計画」と共通

- 人口減少や気候変動に適応した持続可能で心豊かな和歌山をつくります
- 個人が尊重され、あらゆる分野で個性輝く和歌山をつくります

- ・人口減少や気候変動など急激な社会環境の変化に対し、デジタル技術の活用や脱炭素社会への適応を進め、将来にわたり誰もが安心して安全に暮らせる和歌山を目指します。
  - ・社会全体のグローバル化や共生社会の進展を踏まえ、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、誰もが個性を活かして健やかに生き生きと暮らせる和歌山を目指します。
- ※ビジョンの実現に向け、「和歌山県総合計画」などの取組を進めます。

## バリュー（行動指針）

▶ 上記を達成するための職員の重要な価値観や行動指針

県民志向	つねに県民に寄り添い、県民の視点に立って行動します
挑 戦	前例にとらわれず、失敗をおそれず、柔軟な発想で課題に挑戦します
協 働	互いの違いを認め合い、対話を重ねることで、多様な主体と協働します
成 長	個々の能力や個性を最大限発揮し、組織力を高めます

- ・個々の職員がその意欲や能力を十分に発揮できる職場環境づくりのため、多様な考えを持つ職員がともに働くにあたっての共通基盤となる価値観や行動指針を作成
- ・職員全体の共通理解として深く浸透させるため、端的に4項目（県民志向、挑戦、協働、成長）に集約

## ○策定プロセス

- ・若手職員によるワーキングチームを13チーム編成し、「県庁の果たすべき使命」や「職員の行動指針」について各チームから提案を実施
- ・特にバリューについては、各チームの提案内容（若手職員の県庁に対する思い）を反映しつつ、ミッションやビジョンの実現に向けて必要な項目を精査